

令和4年度 第4回中郷区地域協議会次第

日 時:令和4年7月26日(火)18時30分～

場 所: 中郷コミュニティプラザ ホール

1 開 会

2 報 告

(1) ずっと大好き中郷！未来へのバトン事業経過報告

- ・泉縄文公園案内看板設置工事
- ・泉縄文公園施設整備工事
- ・中郷小学校スノーモービル格納庫設置工事

3 協 議

(1) 新たな自主的審議事項について

- ・アンケート結果による課題及び取組について
- ・今後の進め方について

4 その他

5 閉 会

分科会代表者会議

中郷区地域協議会

令和4年7月21日(木) 18:00 中郷コミュニティプラザ

出席者

竹内会長・高橋副会長・高橋達也委員・村越勝彦委員・荒川清尊委員

高波所長・内藤次長・宮尾 G 長・桐山班長・野坂班長・不破班長・兒玉班長・恩田班長

観光産業部会（村越リーダー）

(1)雪に関するインフラ整備は防衛省調整交付金の使い方を視野に入れ意見書として考えていく

(2)観光 PR ホームページ（人の誘致に結び付くもの）→専門コンサルタントへの依頼した場合の金額調査

地域での取り組み →まちづくり振興会動画チームへの依頼

ゴルフ場のある地域として市長杯ゴルフ大会の創設など

教育文化部会（高橋（達）リーダー）

上越市過疎地域持続的発展計画に基づく補助金などを勉強し使える制度、補助金も考えていく。

子供の居場所・学習支援→時間をかけて深堀していく必要がある。

公民館事業として、子育て世代の座談会の提案もあり次世代交流も含め計画する。

世代間交流事業をソフト事業として、提案策を考える。

登下校時の安全対策として、スクールバスの改正を喫緊に取り組む必要がある。

地域福祉部会（荒川リーダー）

高齢者区内買い物支援と小学生下校支援のコミュニティバス運行を喫緊に取り組む必要がある。

当事者の声や保護者の真の思いを聴く必要がある。

竹内会長・高橋副会長

喫緊に取り組むテーマ、課題として「高齢者区内買い物支援、小学生下校時支援のコミュニティバス運行」とする。

(イメージ 1) 中郷区内を巡回するコミュニティバスの運行

(イメージ 2) 月 1 回? お買い物バスなど、〇〇バスの定期的な運行

(イメージ 3) 下校時のスクールバス対応の見直し（特に冬期の中学生）、有償運行

今後の予定

9月提案事業に仕上げるには時間的に非常に厳しい部分が多い。出来ることからまとめて提案する。

→いつから、どんなことが実施可能か（目的・対象者）、実施主体は誰か、どのような経費が必要か、
（行政で検討する事項）

- ・公共交通としての乗合タクシーの現状と今後の見通し
- ・スクールバス運行に係る市のルール、集団登校及び下校の実態、中学生の登下校の実態、有償運行の可否
- ・他区における取り組み事例（スクールバス・公共交通）
（地域協議会で検討する事項）
- ・高齢者支援のニーズ調査・・・現行の乗合タクシーのよりよい利用法（地域福祉チーム）
- ・小・中学生保護者の意見集約・・・スクールバスまたは乗合タクシーの有効活用（教育文化チーム）
- ・中郷区のPRを目的とした利用方法（観光産業チーム）

その他

JCV導入の見込み状況（アンケート自由記載欄対応）

諏訪区HPなど参考になるものの情報収集（観光・産業チーム）

防衛省調整交付金の計画用途については意見書として提出（雪対策）

次回の会議

分科会は継続し、定期的に話し合いをしていくことを希望する。

中郷区コミュニティバスの運行に向けて(事務局案 R4.7.26)

【課題】

- ・現行の乗合タクシー（公共交通）との違い、目的を明確にする必要がある
- ・小・中学生がスクールバスを利用する場合の公平性

1 目的 () はアンケート問 8 対応

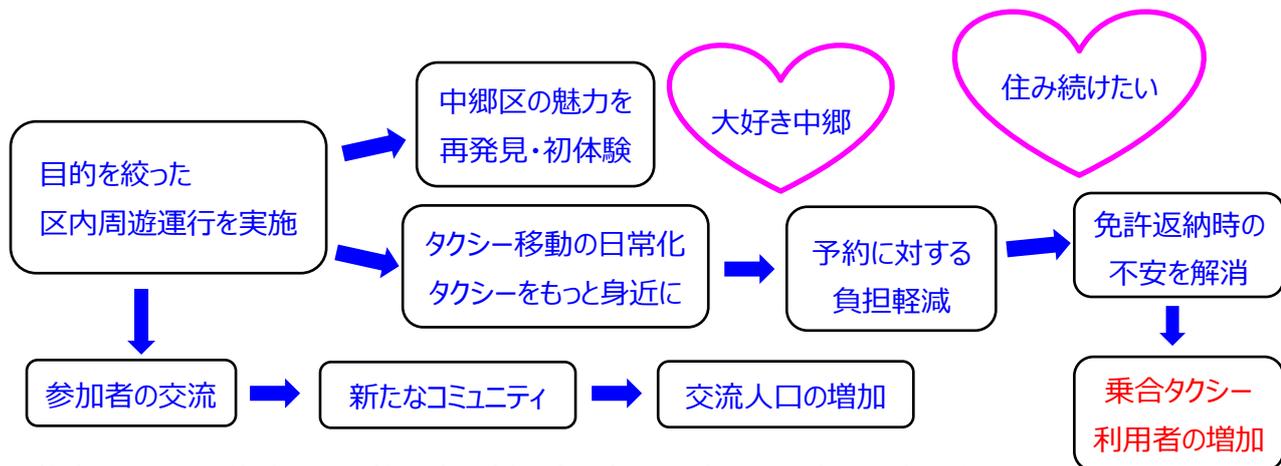
- (1) 高齢者の移動手手段の確保（公共交通の充実）
- (2) 地域住民の交流促進（子育て支援、高齢者の居場所づくり、寝たきり予防）
- (3) 中学生下校時の送迎車両の集中による事故防止。特に冬期間（登下校の安全対策）
- (4) 少子化に伴う小学生下校時の集団下校ができない状況による防犯対策（登下校の安全対策）

2 実行計画（現行の公共交通・スクールバス運行の課題解決に向けた取組）

☆出来ることから始める。コミュニティバス運行に向けた準備として、以下の内容を検討・実施。

- ・利用しない理由 ①予約が面倒②ぜいたくイメージ メリット①安価②交通弱者の移動手手段確保

- (1) 自家用車移動から乗合タクシー利用に意識の切替え・・・（仮称）なかごう巡りツアータクシー運行



(例) ○おいしさ体験ツアー（麺編）（肉編）（○○編） ○演習場内見学ツアー

○日曹二本木工場見学ツアー ○松ヶ峯温泉体験ツアー ○縄文体験見学ツアー など

- (2) 中学生下校時のスクールバス運行 = 下校時の送迎車両集中による事故防止対策（特に冬期間）

- (3) 小学生下校時のスクールバス運行

- 物理的な条件の調整・・・運行時間、利用人数
- 規則的な条件の調整・・・遠距離通学支援との整合性

3 目的以外に期待できる効果

- (1) 交流人口の増加が実現すれば、商店の活性化が期待できる
- (2) 元気な高齢者が増えれば、新たな活動が生まれる期待ができる
- (3) 少子化でも、休日や下校後に友達とちょっと気楽に遊べる環境が期待できる
- (4) ひばり荘の再開が期待できる